

令和6年度決算審査

9月定例会に提案された令和6年度の各会計の決算認定議案について、それぞれ特別委員会を設置し、審査を行いました。その後、12月定例会の初日に委員長から審査内容が報告され、認定および可決・認定の議決を行いました。

一般・特別会計

一般会計と特別会計の歳入歳出決算認定議案を、一般・特別会計決算特別委員会(委員18人)を設置し、10月20日から24日まで審査を行いました。

一般会計決算状況

区 分	令和6年度	令和5年度	増減率
歳 入	2,204億6,900万円	2,295億5,000万円	△4.0%
歳 出	2,127億7,300万円	2,221億2,900万円	△4.2%

特別会計決算状況

区 分	収入額	支出額	収支差引額
国民健康保険	424億7,800万円	419億6,700万円	5億1,100万円
介護保険	457億8,000万円	451億8,900万円	5億9,100万円
後期高齢者医療	80億7,300万円	80億5,200万円	2,100万円
そ の 他	91億6,300万円	41億6,600万円	49億9,700万円
計	1,054億9,400万円	993億7,400万円	61億2,000万円

審査に当たり委員会での意見（一部抜粋）

人口 本市においては、^{*}ペルソナ分析を基にした人口減少対策、都市計画を進めている。今後も国の方針、施策を加味し、都度検討していく中で本市の特色を生かした施策の磨き上げをすること。

福祉 ひとり親家庭自立支援事業の高等技能訓練促進費はスキルアップや所得向上につながるものであり、経済的自立に向け、伴走支援にも努めること。

産業 水産資源の増加に向けて、海底耕うん、カキ殻散布などを行っている。海洋環境改善に関する官民共同会議などでの関係者の意見をしっかりと聞き海底環境の改善に向けて継続して取り組むこと。

福祉 ひきこもり支援策については、当事者や家族などのニーズを踏まえ、参加者が増え、将来的な社会参画に資するよう、支援事業の在り方を抜本的に見直すこと。

企業会計（病院、水道、工業用水道、下水道、集落排水の各事業会計）

決算認定等議案を、企業会計決算特別委員会（委員17人）を設置し、10月14日から16日まで審査を行いました。

企業会計の経営状況

会 計	収 益	対前年比	費 用	対前年比	当年度純利益／△純損失	対前年比
病 院	216億 400万円	4.2%	231億4,900万円	6.5%	△15億4,500万円	△53.6%
水 道	82億8,700万円	△0.1%	71億8,100万円	2.7%	11億 600万円	△15.3%
工業用水道	30億 円	△1.7%	23億6,400万円	2.1%	6億3,600万円	△13.6%
下 水 道	117億 300万円	△1.1%	102億5,700万円	1.3%	14億4,600万円	△15.0%
集 落 排 水	2億7,800万円	—	2億4,100万円	—	3,700万円	—

審査に当たり委員会での意見（一部抜粋）

病院 健全経営に向けて、とりわけ病床利用率の回復、医療収益の確保などに取り組むとともに、収益の向上や費用の適正化など、収支の改善に努めること。

水道 本年は本市水道通水100周年の節目でもあり、今後も持続可能な経営基盤の確立のため財政規律を堅持しつつ、より良い水道サービス維持向上に努めること。

※ペルソナ分析：象徴的なユーザー像を想定して分析を行うこと。実際にペルソナ分析をしている福山みらい創造ビジョン人口減少対策アクションプラン2025はこちらから。 →



決算審査とは

市が予算を適切に使ったのか、また、事業の成果などを審査するものです。

地方自治法または地方公営企業法に基づき、市長が監査委員の意見を付けて決算を議会に提出します。議会は、予算が適切に執行されたのか、また、目的としていた行政効果が得られたのかなどを審査し、認定するか判断します。議会の認定を受けて、決算が確定します。



次に掲載の意見は一部抜粋のため、本会議1日目の各委員長報告をご覧ください。
本会議1日目の映像はこちら

